

富士山中腹の展望台と森林限界境目の修験道をめぐるトレッキング

富士山奥庭・お中道

実施日 2015年7月20日(月・祝)
 天候 晴
 リーダー 白石 恵美子
 参加者 涌井良明、山崎富美恵、小村井好枝、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、白石佐恵、白石恵美子 計8名
 費用 4,630円(世界遺産富士山フリー乗車券(東京都区内から))
 タイム 御庭入口BS(10:25)奥庭山荘(10:35)奥庭展望台(10:45~10:55)御庭入口(11:04)昼休憩(11:45~12:15)大沢崩(13:15~13:45)奥庭山荘(15:10)五合目BS(16:10~17:10)

17日(金)に実施予定だったが、台風のため、20日に延期して実施した。

富士山駅から富士急のバスに乗り、御庭入口で降りるつもりでいたが、運転手さんに、このバスは3合目と5合目しか停車しないとわれ、少し焦って、でも仕方ないから五合目から歩こうと言うことになったが、他にも御庭入口で降りたいと言う人がいて、結局そこで降りしてもらえたので、ヤレヤレ。

お中道へ行く場合は、富士急の富士山駅ではなく河口湖駅から、路線バスに乗らないと御庭入口には停まらないということなので、ご注意ください!

御庭入口からシラビソなどの針葉樹の中の石畳を下り、奥庭山荘を通り、信仰すると男女の仲が開け、夫婦円満になるという天狗岩の神社でご利益を祈り、奥庭遊歩道へ進む。



カラマツの中間を
進み、最後展望
登り、奥庭展
台に着く。振り
返ると赤茶け
富士山が大き
く聳えている
遠くから眺
める

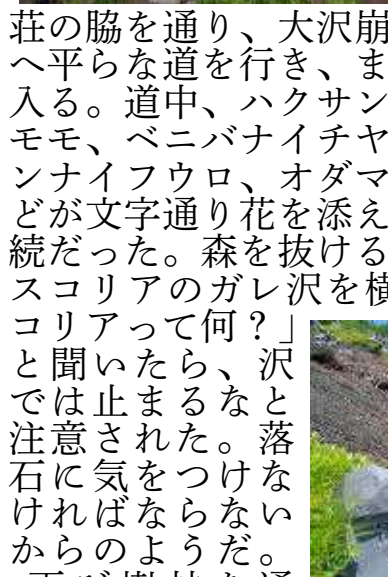
おやかな富士と違い、荒々しい。いつもの如く、「富士山見える?」と言いたくなるが、実は富士山の中にあるという不思議な感覚だ。

雲が多くて南アルプスはほとんど見えなかったが、空の青さと雲の白さと

針葉樹の緑のコントラストが美しい。木々は西からの風のせいで枝が皆、一方向になびいている。

暫し展望を楽しんでから御庭入口に戻り、スバルラインを横断し、お中道へ進む。敷石の道を登って行き、樹林帯を抜け御庭に着く。休業中の御庭山荘の脇を通り、大沢崩の案内に従い、右へ平らな道を行き、またシラビソの森へ入る。道中、ハクサンシャクナゲ、コケモモ、ベニバナイチヤクソウ、タカネグンナイフウロ、オダマキ、クルマユリなどが文字通り花を添えてくれ、感動の連続だった。森を抜けると滑沢で赤茶けたスコリアのガレ沢を横断。途中で、「スコリアって何?」と聞いたら、沢では止まるなと注意された。落石に気をつけないければならぬからのようだ。

再び樹林を通り、仏石流しを横断。更に樹林を通り、一番沢、前沢を横断し、お中道最大の難所だった大沢崩に到着。お中道は、かつては富士山の中腹をぐるりと一周する長25kmの道だったが、今は崩壊してここで行き止まりだ。今は下りることはできないが、絶えず落石の音が響く深い谷は、命がけで登り返さなければならぬ難所だ。実感



できる。残念ながら、ガスのため上の方はあまり見えなかったが…。帰りは来た道を御庭山荘まで戻り、そこから五合目までほぼ平坦な所々雪崩防止の堰堤のある道歩き、五合目のバス到着。参加された皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。また、一緒に山歩きを楽しみましょう。



また、一緒に山歩きを楽しみましょう。



(記・白石 恵美子)

(写真提供・涌井良明/伊藤久雄/石原勝正)